

上町地区民生委員・児童委員のご紹介

民生委員・児童委員は、地域の身近な相談役として厚生労働大臣の委嘱を受け、無報酬で地域福祉の向上に努めています。

何をしているの？	地域の身近な相談役 高齢者、障害者、ひとり親家庭等が抱えている福祉に関する困りごとの相談に応じ、必要な助言や援助を行います。
	各種福祉関係の調査 区等から依頼された各種福祉関係の調査や訪問活動等を行っています。
関係行政機関との橋渡し役	地域の皆さんが福祉の制度やサービスを必要なときに利用できるよう、区の窓口や関係機関への橋渡しを行います。

相談内容の秘密を守ることが義務付けられていますので、安心してご相談ください。

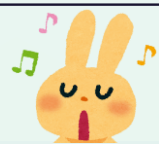
上町地区の民生委員・児童委員 《令和7年12月1日現在》

氏名(敬称略)	担当区域	氏名(敬称略)	担当区域
市川 文恵	世田谷1丁目1～14	榎本 美代子	桜1丁目49～67
岩永 鈴子	世田谷1丁目15～19、32～34	江島 利美	桜2丁目1、桜3丁目1～7、24～29
下村 はるか	世田谷1丁目20～25、29～31、35～37	落合 容子	桜2丁目2～8、桜3丁目19、22～23、30～33
五十嵐 朝子	世田谷1丁目26～28、38～48	大木 政司	桜2丁目9、12～22
渡部 恭子	世田谷2丁目1～24、30	上地 明子	桜3丁目8～18、20～21
藤田 乙仁枝	世田谷2丁目25～29、31～32	廣田 智子	弦巻1丁目1～25
欠員 代理:苗代 佳恵	世田谷3丁目1～13	立木 耀	弦巻1丁目26～52
水島 修子	世田谷3丁目14～26	椎谷 恵子	弦巻2丁目1～23
岡田 裕美	世田谷4丁目1～7	山本 道弘	弦巻2丁目24～41
吉岡 美代子	世田谷4丁目8～15	土田 美保子	弦巻3丁目1～15
井上 真知子	世田谷4丁目16～28	苗代 佳恵	弦巻3丁目16～30
植竹 ひろみ	桜1丁目1～20	伊藤 優子	弦巻4丁目1～16
佐藤 ひろみ	桜1丁目21～30、37～48	吉本 英子	弦巻4丁目17～34
大石 由加	桜1丁目31～36、桜2丁目10～11	山澤 由美子	弦巻5丁目1～5
		ウィギンズ えり子	弦巻5丁目6～10、20～36
		米澤 千草	弦巻5丁目11～19
		井野口 知子	主任児童委員
		深美 明香	主任児童委員

任期:令和7年12月1日～令和10年11月30日

地区の民生委員・児童委員に関するお問い合わせ

世田谷総合支所 世田谷保健福祉センター
生活支援課 管理係 TEL:03-5432-2841



「うたごえひろば」を開催しました！



うたごえひろばの開催

令和8年2月28日(土)桜小学校にて、「うたごえひろば」を開催しました。

当日は、サクラリーネ(桜小学校PTAコーラスサークル)の皆さまのピアノ伴奏や歌のリードのもと、思い出の唱歌や懐かしい童謡を参加者全員で歌いました。当日のお天気が心配されましたが、出かけるにはふさわしい陽気となりました。ご夫婦で参加の方、小学生と父親

の親子連れ、久しぶりにお元気になられた方との再会……。会場では、元気で楽しそうに歌う声が響きわたりました。大勢の人が一同で声を合わせて歌うのは、元気を生み出すもになると実感しました。次回の開催も期待したいと思います。ご協力いただいた皆さま、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

(上町町会Y・S)

▼うたごえひろばの様子



私の好きな歌『故郷』

令和8年2月28日(土)文化部会主催の「うたごえひろば」は、多くの皆さんのご参加をいただき、ありがとうございました。選曲に関わったものとして、お礼申し上げます。

真っ先に選曲したのは『故郷』でした。高野辰之作詞、岡野貞一作曲です。高野辰之は、長野県出身で、長野県尋常師範学校及び東京帝国大学で文学を修め、文部省(現:文部科学省)に入りました。ここで小学校唱歌教科書編纂委員となりました。岡野貞一は、鳥取県の出身で、東京音楽学校で学び、母校の教授や文部省唱歌の作曲委員をつとめました。また、讃美歌で音楽の基礎を磨きました。

この2人は、文部省唱歌を数多く生み出した明治、大正時代の名コンビで、『故郷』、『朧月夜』、『春の小川』、『紅葉』など、現在も歌い継がれる

日本の代表的な歌を共に制作しました。文部省(現:文部科学省)の唱歌教科書の編纂などを通じて協力し、唱歌の黄金期を築いた功績は計り知れません。

『故郷』の歌詞は、文語調で書かれているにもかかわらず、数少ない言葉で、日本人の心の底に眠る心情をよびおこす詩の世界が巡っています。これをオルガニストでもあった岡野貞一が讃美歌の祈りの調べを織り込んで癒しの音楽に昇華させました。百年後にも残る名曲です。

なお、高野辰之の文学の業績を書き加えます。上古の記紀歌謡から明治の歌謡までに至る日本の歌謡を体系的に研究し、東京帝国大学で学位を得ており、研究の集大成である『日本歌謡集成』は10巻を除き世田谷区立中央図書館にも所蔵されています。

(松丘町会 M・K)

『世田谷線』

あじさい
紫陽花が 梅雨を知らせ
たけなわ
立葵が 夏を告げる

たんぽぽ
蒲公英が 春を伝え
すすき
秋には 芒が揺れる

世田谷線に乗れば
季節の変化を
花が教えてくれる

人の暮らしの近く
軒先をかすめるように
世田谷線は走る

環七を渡る
なだらかな線路
三茶から下高井戸までの十駅

おとぎの国の二両電車は
花と家の間を
ゆっくりと走る

私の好きな歌 『世田谷線』



これは、合唱曲「世田谷線」の歌詩です。作詩は水谷有美さん。作曲は歳森今日子さん。インターネットで“せたがや歌の広場コンサート 世田谷線”と入力し検索して、出てきたサイトの一覧から『第30回せたがや歌の広場コンサート(第二部)』を開いて動画を24分30秒まで進めると、世田谷ジュニア合唱団のみずみずしいハーモニーが聞こえてきます。

世田谷線に乗って、車窓から目にする景色、季節が移ろっていく情景が目につくたび、詩が自然で良いと思います。

昨年、世田谷線は開通100周年でした。この路面電車に、小さい頃によく乗った都電を思い出し、懐かしさとともに、暮らしの一部、なくてはならない交通手段としての存在感を感じます。

コンサートで実際に聞いて、素直で透き通る歌声だったので紹介しました。
(弦巻町会 M・A)

ふれあいひろば

第132号

F	T	事	発	発
A	E	務	行	行
X	L	局	日	日
0	0	上	文	令
3	3	町	化	和
・	・	・	・	・
5	3	ま	・	8
4	4	ち	・	年
7	2	づ	・	8
7	0	く	・	月
・	・	リ	・	1
7	4	セ	・	日
9	2	ン	・	
2	4	タ	・	
0	1	ー	・	
			・	



ふれあいひろばHP

向井潤吉アトリエ館のご紹介

弦巻のタンチ山（草木が生い茂った丘）と呼ばれた辺りに、向井潤吉アトリエ館はひっそりと佇んでいます。向井画伯は、1933年からこの地に居住され、世田谷区民（1982年名誉区民となる）のまま1995年に生涯を終えられました。1992年に自宅を兼ねたアトリエとその土地、並びに多数の作品を世田谷区に寄贈され、それを受けた世田谷区が1993年に世田谷美術館分館の第一号として向井潤吉アトリエ館を開館しました。



▲向井潤吉アトリエ館外観©上野則宏

▼向井潤吉アトリエ館内©上野則宏



アトリエ館の中に一歩足を踏み入ると、木の温もりに自宅にいるような感覚になり、気忙しい日常を一瞬忘れさせてくれます。向井画伯は古い葺き屋根の民家を数多く描かれていて、生活そのままの息づかいが聞こえてきそうな作品に圧倒されました。また、昔ながらの風景、風情が色濃く表現されているので、自分の子どもの頃を思い出し、懐かしさに深く浸ることができました。日常に疲れた心の洗濯に、是非一度足を運ばれてはいかがでしょうか。

最後に、本記事を書くに当たり、ご協力を頂きましたアトリエ館の皆様に感謝いたします。
(弦巻町会 K・S)

令和8年4月1日～

自転車の違反に青切符（交通反則通告制度）導入！



青切符（交通反則通告制度）ってなに？

自転車運転者が一定の交通違反行為をした場合、青切符による反則通告を行い、反則金の支払いを求める制度です。違反者が反則金を納めれば刑事罰は科されませんが、反則金を納めない場合は警察が検察に事件送致して刑事手続きの流れに入ります。



何が変わったの？

これまで自転車の違反は警告を受けるか、刑事罰を受ける可能性のある「赤切符」で処罰される仕組みでしたが、「青切符」が導入されたことで、より簡単な手続きで金銭的なペナルティを受ける仕組みが加わりました。以下の表は反則行為の例です。
(桜町会 T・T)

16歳以上の自転車利用者は
みな対象となるのじゃ

上町地区キャラクター
代官ホタルン



× 反則行為例 ×

携帯電話使用等（保持）	12,000円
右側通行（逆走）	6,000円
指定場所一時不停止	5,000円
信号無視	6,000円
遮断踏切不停止	7,000円
並走（横に並んで走る）	3,000円
傘さし運転	5,000円

反則金

自転車はルールがあってこそ安心、安全
思いやり運転で、より住みよい上町地区にするのじゃ！



第63回子ども大会を開催します

令和8年8月24日(月)に上町児童館で開催します！「0才も100才もみんななかよし」をテーマに、様々なものづくり体験のほかにも、



▲第62回子ども大会（令和7年度）の様子

体を動かして楽しめるコーナーも予定しています！夏休みの思い出作りにぜひ遊びに来てね！！

北原白秋と桜小学校校歌― 世田谷の風景が生んだ、ことばの遺産 ―

上町地区からやや三軒茶屋寄りになりますが、世田谷通り沿いに北原白秋旧居跡があります。ふれあいひろば130号に掲載でも紹介しましたが、松丘町内会ホームページに掲載されている大山街道のビデオでも紹介しています。

▼北原白秋旧居跡立て看板



北原白秋は、明治18年（1885）、福岡県柳川の海産物問屋を営む旧家に生まれました。水郷の町・柳川で育った原風景は、生涯にわたって彼の詩情の源になります。

白秋は早稲田大学英文科予科で学ぶ一方、与謝野鉄幹・晶子らの新詩運動に参加した、近代日本を代表する詩人・歌人・童謡作家でした。昭和初期には世田谷区に居を構え、この地で多くの童謡や抒情詩を生み出しました。

当時の世田谷は、まだ畑や雑木林が広がる静かな郊外で白秋はその穏やかな環境をこよなく愛していました。

桜小学校の周辺も、白秋の生活圈と重なり、日々の散策の中で目にしていた風景のひとつだったと考えられます。白秋は「子どもに向けた言葉こそ、もっとも美しく、やさしくなければならない」と考えた詩人でした。白秋が補作を行った桜小学校の校歌にも、自然や光を感じさせる表現が用いられ、子どもたちを強く鼓舞するのではなく、子どもたちののびやかな成長を見守る思いが表されています。それは時代背景を超えて、今なお歌い継がれる理由のひとつでしょう。この校歌は、単なる学校の歌ではありません。世田谷という土地が育んだ文化の厚み、そして「暮らしの中に芸術がある」という当時の空気を、今に伝える貴重な地域の財産です。

子どもたちの声によって受け継がれてきた白秋の言葉は、これからも世田谷の風景とともに、静かに生き続けています。なんだかこの地域は多くの文豪に愛されてきたことがわかります。そこで一首「なだたるは 文の巨匠の 住みし街 筆とる我も 夢に灯とむす」

(松丘町会 A・M)



申し込みが必要なイベントもあるので、区のおしらせ（25日号）は要チェックじゃ！

上町地区イベントカレンダー

8月24日(月)	子ども大会	上町児童館
9月中旬	健康体操教室	上町まちづくりセンター
10月下旬	上町地区防災フェスタ	未定
11月上旬	歩こう会	未定
11月14日(土)	上町地区古着・古布回収	上町地区管内7か所
上記と同日開催	フードドライブ	代官屋敷敷地外駐車場

発行日現在の予定です。参加申し込み日などは区のおしらせ（毎月25日号）をご覧ください。



▲区のおしらせ
「せたがや」
バックナンバーHP

あとがき

息子から「座右の銘は？」と聞かれ、ふと考え込みました。厳しい暑さが続くこの頃、気持ちも少し沈みがちになりますが、そんな時こそ私が大切にしているのは「笑顔」です。笑顔でいるだけで、不思議と心も周りの人もやわらぎます。この酷暑の夏も、地域の皆さまと声をかけ合いながら元気に乗り切っていきましょう。日々の暮らしの中で、ほんと心が和らぐ瞬間をお届けできればと思います。そして、本紙の記事の中に、ふと笑顔になれるひとときがあれば幸いです。
(上町町会 M・O)

日赤上町分団よりおしらせ

10月1日(木)より赤い羽根共同募金運動が始まります。共同募金は、地域の多様な課題解決のために役立てられています。みなさまのご協力をお願いいたします。

渡村 立高 鈴椎 小奥 伊網	編集委員
邊内 石口 木谷 松本 藤敷	
美敦 か徹 陽恵 正美 美光	
保 ぼる 生子 子佳 和登 剛里	